

衛生法規に関する知識

問1 次の文章は、クリーニング業法について述べたものです。

(①)から(⑩)にあてはまる適切な語句を、それぞれ1つ選び、その記号を解答欄に記入してください。(4点×10問)

- 1 クリーニング業法は、クリーニング業に対して(① ケ:公衆衛生)等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もってその経営を(② エ:公共の福祉)に適合させるとともに、利用者の利益の擁護を図ることを目的とする。
- 2 クリーニング業法で「クリーニング業」とは、(③ ク:溶剤)又は洗剤を使用して、衣類その他の(④ キ:繊維製品)又は皮革製品を原型のまま洗たくすることを営業とすることをいう。
- 3 クリーニング所の営業者に相続、合併又は分割があつたときにおける、営業者の地位を承継した者は、(⑤ サ:遅滞なく)、その事実を証する書面を添えて、その旨を(⑥ タ:都道府県知事)に届け出なければならない。
- 4 営業者は、クリーニング所ごとに(⑦ セ:1人)以上の(⑧ ウ:クリーニング師)を置かなければならない。
- 5 クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、(⑨ ト:厚生労働省令)で定めるところにより、都道府県知事が厚生労働大臣の定める基準に従い指定したクリーニング師の資質の向上を図るための(⑩ コ:研修)を受けなければならない。

(語 群)

ア	生活衛生	イ	指導	ウ	クリーニング師	エ	公共の福祉
オ	金属製品	カ	漂白剤	キ	繊維製品	ク	溶剤
ケ	公衆衛生	コ	研修	サ	遅滞なく	シ	条例
ス	業務従事者	セ	1人	ソ	厚生労働大臣	タ	都道府県知事
チ	衛生基準	ツ	2人	テ	期間を定めて	ト	厚生労働省令

問2 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入してください。(4点×5問)

- 1 (×) 都道府県知事は、営業者又はその使用人で、洗濯物の処理又は受取及び引渡しの業務に従事するものが伝染性の疾病にかかり、その就業が公衆衛生上不適當と認めるときは、廃業させることができる。
- 2 (×) 営業者は、洗たく物の受取をしようとするときに限り、あらかじめ、利用者に対し、洗たく物の処理方法等について説明しなければならない。
- 3 (×) コインランドリー営業(セルフサービス)は、クリーニング業に含まれる。
- 4 (○) 都道府県知事は、必要があると認めるときは、当該職員に、クリーニング所又は業務用の車両に立ち入り、クリーニング業法第3条、第3条の2第2項及び第4条に規定する措置の実施状況を検査させることができる。
- 5 (○) 都道府県知事は、クリーニング師がクリーニング業に関し犯罪を犯して罰金以上の刑に処せられたときは、その免許を取り消すことができる。

問3 次の文章は、クリーニング所における営業者の衛生措置等について述べたものです。

(①)から(⑤)にあてはまる適切な語句を、それぞれ1つ選び、その記号を解答欄に記入してください。(4点×5問)

- 1 営業者は、クリーニング所以外において、営業として(① ク:洗たく物の処理)を行い、又は行わせてはならない。
- 2 営業者は、洗たく物の洗たくをするクリーニング所に、業務用の機械として、洗たく機及び(② ア:脱水機)をそれぞれ少なくとも1台備えなければならない。
- 3 クリーニング所及び業務用の車両並びに業務用の機械及び器具を(③ ケ:清潔)に保つこと。
- 4 洗濯物をその(④ オ:用途)に応じ区分して処理すること。
- 5 洗場については、床が、(⑤ コ:不浸透性材料)で築造され、これに適当な勾配と排水口が設けられていること。

(語 群)

ア 脱水機	イ 浸透性材料	ウ 素材	エ クリーニング
オ 用途	カ 安全	キ 乾燥機	ク 洗たく物の処理
ケ 清潔	コ 不浸透性材料		

問4 厚生労働省が定める「クリーニング所における衛生管理要領」に関する次の文章について、(①)から(⑤)にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- 1 ランドリー処理の本洗いには、(① ア 60)℃以上の温水を使用することが望ましいとされている。
- 2 クリーニング業を営む者は、従業者が(② エ 結核)又は(③ ク 頭部白癬)等の感染性皮膚疾患にかかったときは、この旨を保健所に届け出るとともに、当該作業者を従事させないこととしている。
- 3 指定洗濯物の一般的な消毒方法として、(④ オ:酸化エチレン)ガス及び(⑤ シ:蒸気)等が示されている。

(語 群)

ア 60	イ アセチレン	ウ 乾癬	エ 結核	オ 酸化エチレン
カ 50	キ エタノール	ク 頭部白癬		
ケ 40	コ 粉瘤	サ メタノール	シ 蒸気	

公衆衛生に関する知識

問1 次の文章は、公衆衛生について述べたものです。

(①)から(⑤)にあてはまる適切な語句を、それぞれ1つ選び、その記号を解答欄に記入してください。(4点×5問)

- 1 (① コ:ウインスロー)の定義では、「公衆衛生とは、環境衛生の改善、伝染病の予防、個人衛生の原則についての個人の教育、疾病の早期診断と治療のための医療と看護サービスの組織化、および地域社会のすべての人に、健康保持のための適切な生活水準を保障する社会制度の発展のために、共同社会の(② ク:組織的)な努力を通じて、疾病を予防し、寿命を延長し、肉体的、精神的健康の能率の増進をはかる科学であり、(③ ア:技術)である。」とされている。
- 2 日本国憲法第25条には、「すべて国民は、健康で文化的な(④ ケ:最低限度)の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び(⑤ カ:増進)に努めなければならない。」と規定されている。

(語 群)

ア 技術	イ 裕福	ウ 経済的	エ 生活水準	オ ベクトル
カ 増進	キ 革命	ク 組織的	ケ 最低限度	コ ウインスロー

問2 次の文中(①)から(⑤)内の正しい語句を選び、その記号を解答欄に記入してください。(4点×5問)

- 1 洗たく物の取り扱いについて、洗たく物には微生物汚染があり、有機物も存在するため、時間の経過とともに(① ア 増殖 イ 絶滅)する可能性がある。
- 2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の主要な感染経路は、飛沫感染や(② ア 血液感染 イ 接触感染)と考えられており、感染を予防するためには、せっけんを使った手洗いや3密を避けることが重要である。
- 3 セレウス菌は、(③ ア 食中毒 イ 結核)の原因菌の1つであり、芽胞は熱やアルコールに耐性がある。
- 4 付着した汚物中のノロウイルスが飛び散らないようにペーパータオルなどでできるだけ吐ぶつを取り除き、(④ ア:洗剤 イ:アルコール)を入れた水の中で(⑤ ア:激しく イ:静かに)もみ洗う。

問3 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入してください。(4点×10問)

- 1 (×) 滅菌とは、病原体を物理的又は化学的方法により死滅させ、あるいは感染量に達しない程度まで大幅に減少させることである。
- 2 (×) クリーニング所は、水質汚濁防止法の特定施設ではないため、同法にかかる自治体への届出などはない。
- 3 (○) 標準営業約款制度(Sマーク制度)は、消費者の利益擁護の観点から、消費者の店舗選択の利便を図ることを目的として創設された制度であり、クリーニング所も登録の対象となっている。
- 4 (×) 大気汚染防止法では、テトラクロロエチレンによるドライクリーニング機については、処理能力が1回当たり20kg以上の施設に指定物質抑制基準が設定されている。
- 5 (○) 感染拡大の原因が主に経口感染(口から体内に病原体が入る)である感染症については、「手洗い」が予防策として効果がある。
- 6 (○) PRTR制度は、有害性のある多種多様な化学物質が、どのような発生源から、どのくらい環境中に排出されたかというデータを把握し、それを集計して公表する仕組みである。
- 7 (×) 建築基準法では、引火性溶剤を用いるドライクリーニング工場について、住居系地域のみ、立地(建築)を禁止している。
- 8 (○) 地域保健法において、栄養の改善と食品の衛生に関する事項は、保健所が必要な事業を行うこととなっている。
- 9 (○) ノロウイルスに係る吐ぶつが付着した布団等を下洗いする際には、次亜塩素酸ナトリウムが1,000ppm以上になるようにして消毒を行う。
- 10 (○) 感染症の分類には指定感染症の他に一類～五類感染症があるが、一類感染症より五類感染症の方が感染力等に基づく観点からみた危険性が低い。

問4 次の文章は、クリーニング所における指定洗濯物の一般的な消毒方法について述べたものです。(①)から(⑤)にあてはまる適切な語句を、それぞれ1つ選び、その記号を解答欄に記入してください。(4点×5問)

1 熱水による消毒条件は、(① カ:80)℃以上の熱水に10分間以上浸す。

2 蒸気による消毒条件は、(② ク:100)℃以上の蒸気に10分間以上触れさせる。

3 次亜塩素酸ナトリウムなどの塩素系消毒薬による消毒条件は、(③ ケ:250)ppm以上の遊離残留塩素濃度にて、30℃以上で(④ ア:5)分間以上浸す。

4 界面活性剤による消毒条件は、殺菌効果のある界面活性剤を使用し、適正希釈水溶液中に30℃以上で(⑤ エ:30)分間以上浸す。

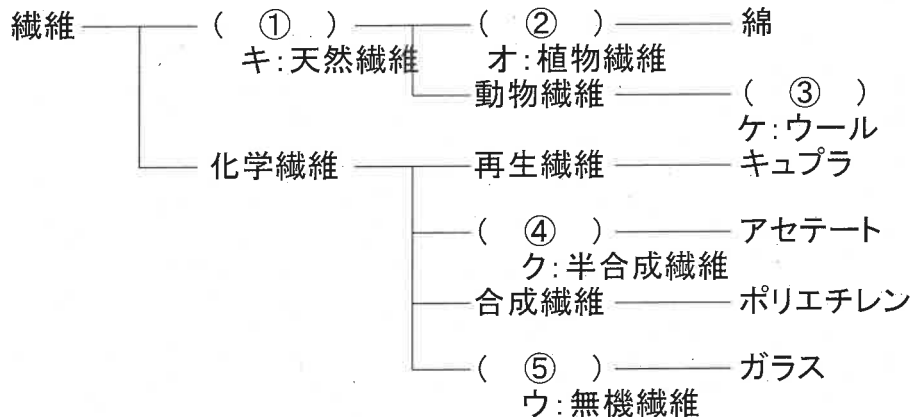
(語 群)

ア 5	イ 10	ウ 20	エ 30	オ 70
カ 80	キ 90	ク 100	ケ 250	コ 350

洗濯物の処理に関する知識

問1 次の表は繊維の分類表です。

(①)から(⑤)にあてはまる適切な語句を、それぞれ1つ選び、その記号を解答欄に記入してください。(4点×5問)



(語 群)

ア 有機繊維	イ 炭素繊維	ウ 無機繊維	エ 非合成繊維
オ 植物繊維	カ 金属繊維	キ 天然繊維	ク 半合成繊維
ケ ウール	コ コットン		

問2 次の文章は、繊維や織物について述べたものです。

(①)から(⑤)内の正しい語句を選び、その記号を解答欄に記入してください。(4点×5問)

1 (① ア:綿 イ:麻)は、吸湿性に富み、乾燥状態よりも湿潤状態の方が丈夫である植物繊維であり、天然のねじれがある。丈夫で肌ざわりがよく、染色性が良い一方、縮みやすくシワになりやすい性質を持つ。

2 (② ア:ナイロン イ:レーヨン)は、日本で最初につくられた化学繊維である。しなやかでさらっとした肌ざわりがあり、美しい色に染まる。ただ、水処理によって収縮したり、風合いが著しく低下することがある。

3 織物がたて糸とよこ糸からできているのに対し、ニットは(③ ア:1本 イ:2本)の糸がループを作って絡み合っている。

4 平織、綾織、(④ ア:紋織 イ:朱子織)を織物の三原組織という。三原組織はすべての織物の基本となる重要な組織であり、デニムはこれらのうち(⑤ ア:平織 イ:綾織)である。

問3 次の記述について、()の中から適切な語句を選び、その記号を解答欄に記入してください。(4点×10問)

- 1 毛皮は、湿度に弱く脱脂されるので、(① ア ドライクリーニング
イ パウダークリーニング)を行う。
- 2 ランドリーの工程で本洗いは、石けんまたは洗剤を使用し、加えるアルカリ剤(メタ珪酸ナトリウム)のpHを(② ア 8～9 イ 10～11)に保つことで、洗剤の洗浄を助ける。
- 3 次亜塩素酸ナトリウムの標準使用量は、水1リットルあたり(③
ア 2g以下 イ 5g以上)であり、(④ ア 低温 イ 高温)で漂白効果がある。
- 4 チャージシステムでは、ソープ濃度は(⑤ ア 0.5～1%
イ 5～10%)を用いるのが一般的である。
- 5 石油系溶剤は、油脂溶解力が(⑥ ア 大きく イ 小さく)、比重が軽いので、ソフト洗いに適しているが、(⑦ ア 不燃性 イ 引火性)で、消防法や建築基準法の規制を受ける。
- 6 クリーニングの「シミ抜き」工程において、鉄サビ汚れを除去するには、(⑧ ア シュウ酸 イ クエン酸)の方が優れている。
- 7 ランドリーの工程で予洗は、繊維、汚れ、糊などを膨潤させ、汚れを取りやすくする効果があり、(⑨ ア 全ての イ 一部の)洗濯において、本洗い前に必ず行う必要がある。
- 8 留具には大きく3種類あり、(⑩ ア ボタン イ マジックテープ)は、面による開閉機能の役割を持っている。

問4 平成28年12月1日から適用されることとなった、衣料品の取扱い表示と、その説明の組み合わせについて、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入してください。(4点×5問)

1 (×)



液温は30℃を限度とし、手洗いができる。

2 (○)



塩素系及び酸素系の漂白剤を使用して漂白ができる。

3 (×)



日陰の平干しがよい。

4 (×)



底面温度100℃を限度としてアイロン仕上げができる。

5 (○)



酸素系漂白剤の使用はできるが、塩素系漂白剤の使用はできない。

繊維の鑑別試験

令和4年度クリーニング師試験

令和5年2月9日

受 験 番 号	
---------	--

(問 題)

番号の付いた7枚の白い布があります。下に挙げた繊維はどれですか。
目で見たり、手で触ったりして鑑別して、番号で教えてください。

麻	
ナイロン	
綿	
レーヨン	
絹	
ポリエステル	
ウール	

繊維の鑑別試験(答)

令和4年度クリーニング師試験

令和5年2月9日

受 験 番 号	
---------	--

(問 題)

番号の付いた7枚の白い布があります。下に挙げた繊維はどれですか。
目で見たり、手で触ったりして鑑別して、番号で教えてください。

麻	4
ナイロン	1
綿	3
レーヨン	6
絹	2
ポリエステル	5
ウール	7